

# 温泉で入浴介助サービス

## ニチイと連携、宿泊施設で初

富士レークホテル



バリアフリー仕様の貸し切り風呂

「富士レークホテル」兼ねなく温泉を楽しんで（井出泰済社長、山梨県富士河口湖町）は、1人で入浴することが難しい車イス利用者などにも気

「富士レークホテル」兼ねなく温泉を楽しんで（井出泰済社長、山梨県富士河口湖町）は、1人で入浴することが難しい車イス利用者などにも気

全国で展開する「ニチイ学館」（本社・東京都千代田区）と宿泊施設として初めて連携した取り組みで、入浴をあきらめていた利用者からは喜びの声が寄せられ

ている。

サービスは有料で、宿泊予約時に申し込みできる。介助はニチイのスタッフ

があたり、利用者同意のもと、事前に身体状況の把握や必要に応じヒアリングを行い、当日も体温・血圧・脈拍測定などの体調チェックする。入浴が可能か判断したうえで、リフトや各種備品も整ったバリアフリーの浴場へ客室から誘導

し、脱衣から入浴、着衣まできめ細やかなサポートを行う。  
同ホテルは、館内共有部や客室にユニバーサルデザインを業界でもいち早く導入するなど、人ややさしいホテルを目指した取り組みを行い、11年には内閣府の「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰優良賞」を受賞している。  
入浴介助サービスについても、「当初は、ホテルのスタッフが行う形でスタートした」と井出社長は話す。だが、より高い専門性や社員の負担の軽減、安全への対策を模索するなかで出会ったの

がニチイ学館だった。  
安心・安全を最優先に、教育や人材育成を通じ培ってきたニチイのノウハウもサービスに活きる。  
同社の太田弓恵甲府支店長は「車イスの方も旅先で入浴できることを知っていたら、ご家族との思い出作りや張り合いを生むお手伝いにつながれば」と話す。  
富士レークホテルの貸し切り風呂は、入口から浴室まで段差のないフルフラット仕様。一度に4～5人入浴できるゆったりとした造りで、湖の絶景を望みながら河口湖温泉の引き湯を心ゆくまで楽しめる。